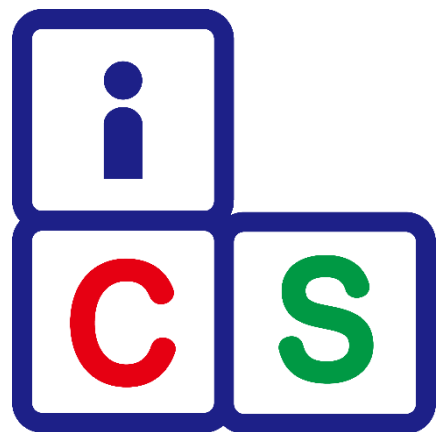


令和5年5月26日（金）身近な教育委員会



板橋区コミュニティ・ スクール（iCS）の推進

～「地域とともにある学校」をめざして～

教育委員会事務局 地域教育力推進課



「iCS」導入の経緯

導入の背景

板橋区では、従来から学校支援地域本部による学校支援活動が盛んに行われています。

学校が抱える課題は多様化・複雑化しており、これに対応するためには従来の「学校だけ」による経営から脱却し「**地域とともにある学校**」への転換が不可欠です。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で学校運営協議会設置の努力義務が規定されたことに伴い、板橋区は令和2年度に全校にCS委員会を導入しました。

| | H20 | H21 | H23～H26 | H27～H29 | H30 | R元 | R2 |
|--------------|------|------|---------|---------|------------------|-----------------|---------------|
| CS委員会 | | | | | CS推進委員会 (10校) | CS推進委員会 (全校) | CS委員会 全校導入 |
| 学校支援 地域本部 | 1校設置 | 1校設置 | 22校設置 | 36校設置 | 13校設置 (全校完了) | | |



「地域とともにある学校」とは？

- 学校が地域の方と目標やビジョンを共有し、地域一体となって子どもたちを育む学校のことです。
- 「地域の子どもは地域で育てる」ことで、子どもたちの明るく、元気で前向きな成長へとつなげることが期待できます。

iCSとは

コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部を
「両輪・協働」の関係で運営する仕組み

めざす姿
地域とともにある学校

iCSの仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことで…

学校

地域の力を生かした学校運営、
子どもたちに向き合う時間や
質の高い授業づくりのための
時間の確保

子ども・保護者

地域の中で子どもたちが育て
られているという安心感、
地域愛が育まれ地域を理解

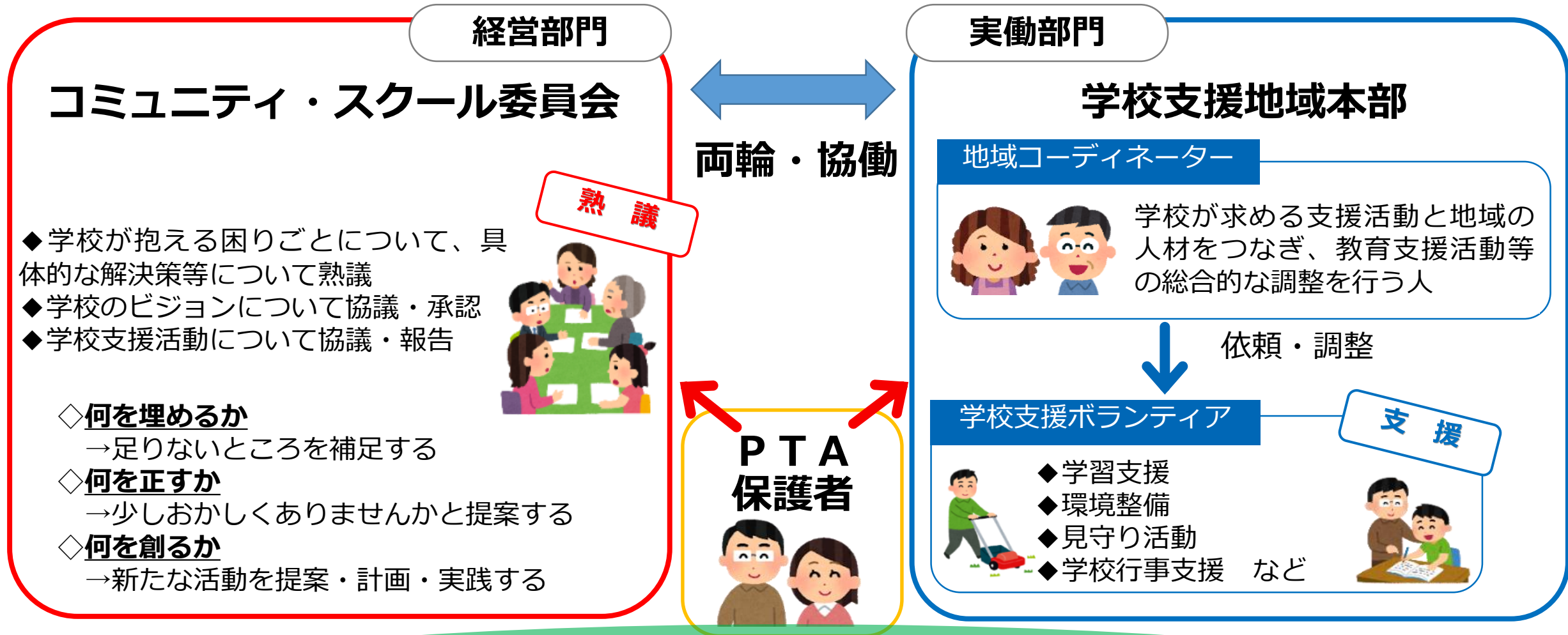
地域

子どもや保護者が地域を
理解し、学校を核とした
つながりが強化

**地域コミュニティの
活性化**



「iCS」のイメージ





CS委員会での熟議

| 分 類 | 熟議のテーマ |
|---------------|---|
| 熟議のテーマ、CS運営方法 | 今年度の熟議のテーマ、児童が積極的に関わるiCSの運営方法 |
| 学校への期待など | 当校に期待すること、より良い学校にするには、当校の教員に望むこと |
| 子どもたちへの期待など | 育てたい生徒の資質・能力、主体性を育むには、子どもたちの良いところとさらに身に付けてほしいところ、子どもたちが10年後にどうあってほしいか |
| 地域との連携 | 周年記念に向けて（地域との連携）、今後地域が学校に支援できること、地域と協働できる総合的な学習の取組について |
| 全国的な課題 | 部活動の地域移行について、教員の働き方改革のために |
| 学校の経営方針 | 「だれ一人取り残さない学校」（経営方針の柱の一つ）とはどういう学校か |
| 学力向上 | 授業の取組・様子を見て感じたこと、研究協議会に参加して |
| 不登校・居場所づくり | 不登校について、子どもの居場所づくりについて |
| 学校の具体的な課題 | 校則、当校の生徒を増やすために、学校行事の在り方、学校支援の人手確保、特別な支援を必要とする児童の支援 |
| CSによる具体的な取組 | CSプロジェクト「花育」、上二テラスを地域とともに活用する方法、レストルームの運営、昨年度の熟議の内容から改めて今年度行えそうなこと |
| 学びのエリア連携 | 学びのエリアで共通してできる取組について |



「iCS」の取組による成果（緑小の事例）

緑小学校では、校庭の改修工事に伴い、学校敷地内にビオトープが設置されました。ビオトープの完成に至るまでには、iCS関係者の皆様からの多大なご助言・ご尽力をいただきました。

経営部門

コミュニティ・スクール委員会

- 子どもたちが授業で考えた「ビオトープの未来図」（名称、看板デザイン、生き物、植物など）を実現するため、また、ビオトープの維持を児童が主体となって管理できるような体制を地域がバックアップしていくため、CS委員会で熟議が重ねられました。
- ビオトープ完成後、CS委員の発案でビオトープの周りで保護者と子どもたちが集まって気軽に話す機会を作るなど、ビオトープは地域と学校をつなぐ場となっています。

両輪・協働

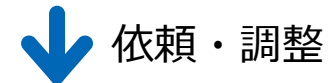
実働部門

学校支援地域本部

- 学校支援地域本部が調整役となり、維持管理の体制を整えています。

地域コーディネーター

地域の木工クラブ等に看板の作成を依頼



学校支援ボランティア

看板などを作成



ビオトープを通して、自然のつながりだけでなく、人と人とのつながりを持ち、「地域とともにある学校」の実現に向けて進んでいます。

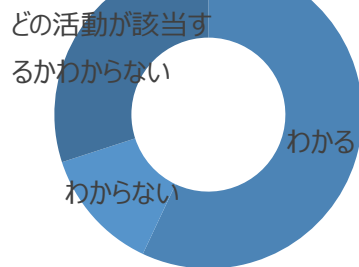


iCSアンケート調査の集計結果（一部抜粋）

対象：
CS委員、地域コーディネーター
学校

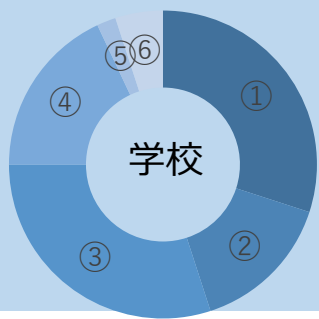
CS委員

学校支援地域本部がどのような活動を行っているか、わかりますか？



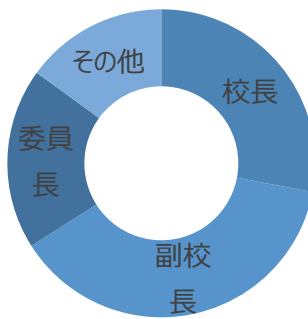
「地域とともにある学校」の実現に最も必要だと思う要素

| | CS委員 | 学校 |
|-----------------|------|-----|
| ①学校・教職員の意識 | 39% | 30% |
| ②熟議の実施 | 29% | 15% |
| ③地域の特色を生かした教育活動 | 15% | 30% |
| ④地域人材の学校経営参画 | 9% | 18% |
| ⑤地域への学校施設の開放 | 5% | 2% |
| ⑥その他 | 2% | 5% |



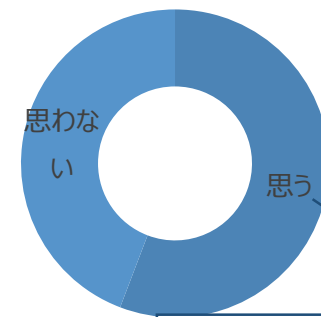
学校

熟議の進行者



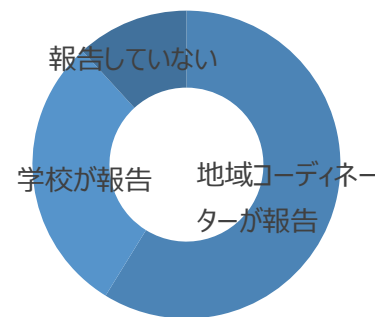
地域コーディネーター

CS委員会は学校支援地域本部の活動に効果的な影響を与えていると思いますか？

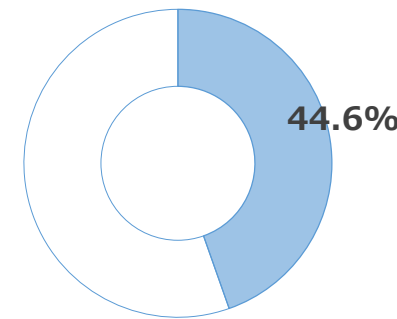


理由は「学校のニーズがわかりやすくなった」など

CS委員会で学校支援地域本部の活動について報告していますか？



地域の力を活用することで、児童生徒への指導等に注力できる時間が増えたと感じる教員の割合





グループディスカッション

熟議をやってみましょう

- A) 板橋区の子どもたちに、どんな大人になってほしいですか。
(例：思いやりのある子、自分の考えを表現できる子、やり遂げられる子・・・)
- B) そのために、学校と地域が連携して、どんなことができると思いますか。ご自身の立場でお考えください。(例：地域によるあいさつ運動や見守り活動、美化運動、自身の特技を活かした学習やクラブ活動のボランティア・・・)

手 順

1. A・Bそれぞれについて、ご自分の意見を付せんに書き出しましょう。付せん1枚につき1つの意見を書いてください。何枚書いても結構です。(5分間)
2. 模造紙に付せンを貼り、自分の意見を伝えましょう。(10分間)
3. グループ全員で意見の共有と話し合いをしましょう。同じ意見の付せんをまとめてみましょう。
4. 各グループから発表